■リハビリテーション学研究科　リハビリテーション学専攻　作業療法学領域

田中　宏明　講師

１．主な研究内容について

当研究室では、精神障害に関して、精神的側面だけでなく身体的側面を加えた「脳－精神－身体」の関連を捉える研究に取り組んでいます。「脳」と「精神」と「身体」の関連から、精神疾患の病態を捉えていきたいと考えています。

主な研究テーマは、統合失調症の認知機能障害に関する研究と、内受容感覚に関する研究です。

具体的には以下のようなテーマに取り組んでいます。

1)統合失調症の表情認知や複雑な状況判断・意思決定能力と社会機能との関連

2)内受容感覚の鋭敏さと意思決定

3)内受容感覚の鋭敏さと共感

このような研究テーマに加えて、精神障害のある方の回復に役立つ新しい評価や介入技法などについても探求していきたいと考えています。

２．主な共同研究先

なし

３．今まで指導した学位論文名

〈修士論文〉

2022 年度：統合失調症患者における動機づけの制御の側面に着目した探索的研究

2020 年度：精神障がい者との社会的接触によるスティグマ低減効果の検討および効果的な社会的接触の探索

2020 年度：統合失調症のコーピングスタイルと関連する因子の探索

４．主な論文

・浦川瑞生，小川泰弘，真庭大典，坂井大吾，田中宏明：前後比較試験を用いた A 市青年会議所の会員と精神障がい者との社会的接触によるスティグマ低減効果の検討，精神障害とリハビリテーション，27(2)，172-178，2023

・林良太，永井愛夏，四海真理子，黒田健治，田中宏明，稲富 宏之：統合失調症に対するメタ認知トレーニング日本語版の実施が認知的洞察に与える影響について，Journal of rehabilitation and Health Sciences，16，7-10，2020

・福原啓太，田中宏明，西田斉二，小川泰弘，森泰祐，西川隆：Distraction 技能獲得により不安の軽減と自己効力感ならびに社会生活活動の改善がみられた一例，大阪作業療法ジャーナル，32(2)，135-142，2019

・福原啓太，田中寛之，小川泰弘，永田優馬，田中宏明，大西久男，西川隆：統合失調症患者における語用論的言語(比喩・皮肉)の理解能力について，Journal of rehabilitation and Health Sciences，14，15-25，2016

・芳賀大輔，正村優子，吉田文，橋本弘子，田中宏明，内藤泰男：統合失調症患者の観察式の認知遂行機能尺度の作成，大阪作業療法ジャーナル，26(1)，57-59，2012

・田中宏明，立山清美，谷口英治，清水寿代，吉田文：統合失調症と広汎性発達障害，Journal of rehabilitation and Health Sciences，9，1-6，2011

・田中宏明，小川泰弘，高橋謙，芳賀大輔，内藤泰男：ギャンブリング課題における統合失調症の学習の障害，Journal of rehabilitation and Health Sciences，9，11-13，2011

５．現在の指導している大学院生数

なし

６．どのような大学院生の受け入れを希望するか？

精神科リハビリテーションに関する研究テーマに対して、意欲的に探求していく大学院生を求めます。

事前に相談してください。